

木下蘇子 きよした 俳人、歌人。慶應二年十一月一日紀伊國生れ、昭和二十八年六月七日歿（八六六—九五三）。本名立安。慶應義塾卒。『時事新報』記者、のち鐵道時報社社長、旅行案内社専務等歴任。俳句は吉田多葉主宰誌『櫻祭』、松本翠影主宰誌『かきこころ』各同人。短歌は佐佐木信綱の『心の花』に據る。

著書に『乾ける國へ—滿鮮支那旅行』（大正十一年五月一日鐵道時報局）、『蝦夷の歌日記』（昭和五年八月自刊）、『蘇子の集』（吉田多葉・松本翠影編、昭和五年十一月十五日櫻祭書房・眞白社）、『泰山木の花』（昭和十一年七月—二十九年シズル社『心の華叢書』）等。

